

作品説明書

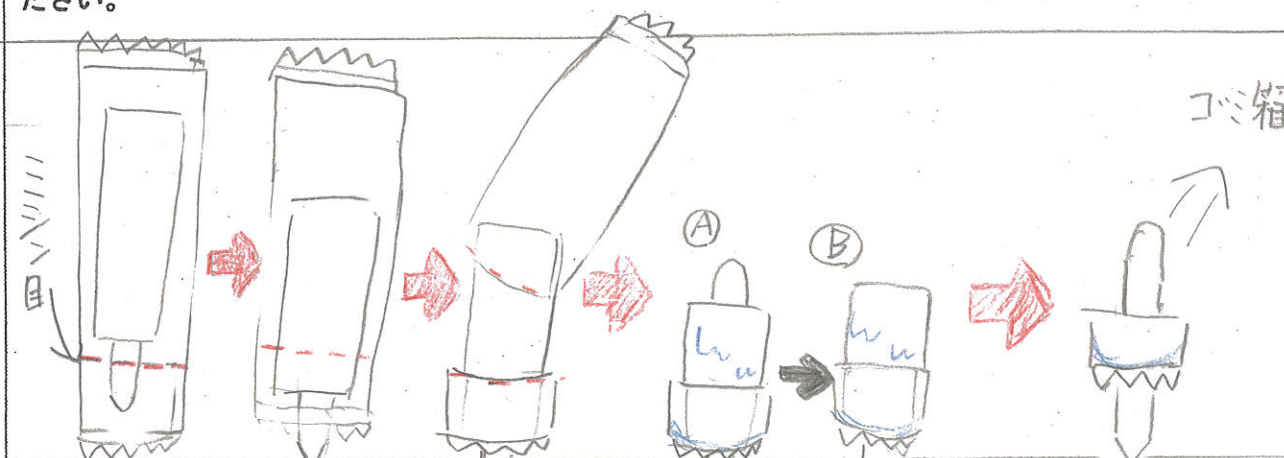
【作品名】

手にたれないアイスパッケージ

【発明のポイント】(発明のきっかけ、特徴、アイデア、くふうした点、苦勞した点など)

ほうろアイスを食べっていると、溶けて、手につくからいやだったのを考えました。工夫したところは、アイスのかくろにミシン目をつけたところとほうろを出しやすいように、小さな子かケカしないようにとんからせたところです

【使い方・説明図】(絵や写真などを使用してもかまいませんので使い方をわかりやすく説明してください。)



ふっろのかくろにミシン目がある。持ち部分の一番下は穴をあけやすいようにとんからせてある

ほうろをかくろの外に出す

ミシン目をやり、ふり上のかくろの部分はする

とけはじめるとふくろの中に入れていく。①のようにほうろが見えはじめると食べにくいので、ふくろの部分をもっとあけ、②のようにする

食べ終わった溶けたアイスは飲んでもよし、飲まなくてもよし、どうかしたら、ふくろごとゴミ箱へポイ

◆作品製作者◆

学校名	中津市立小楠小学校(6 年)	氏名	俵積田希
学校名	(年)	氏名	
学校名	(年)	氏名	

※「作品説明書」は「応募用紙」と併せて大分県発明協会事務局へ郵送またはFAXにて提出ください。

※植物・動物・食品等の持ち込みが必要となる作品の出品はできません。